



東濃西部少年センター

		多治見	瑞浪	土岐	センター	合計	少年相談
10月	指導件数	0	0	1	0	1	電話 7
	内女子件数	0	0	0	0	0	メール 5
	声かけ件数	666	22	379	70	1,137	合計 12
11月	指導件数	0	0	0	0	0	電話 10
	内女子件数	0	0	0	0	0	メール 12
	声かけ件数	293	19	394	57	763	合計 22
合計	指導件数	0	0	1	0	1	電話 17
	内女子件数	0	0	0	0	0	メール 17
	声かけ件数	959	41	773	127	1,900	合計 34

《センターより》

11月の指導結果は上記のようになりました。お疲れさまでした。

早く日が暮れるので、帰宅を促す声かけがほとんどでした。ありがとうございました。

11月は「全国青少年健全育成強調月間」でした！

東濃西部少年センターは、11月20日(土)午前10時より、JR多治見駅前で広報啓発活動を行いました。下の写真と新聞記事にありますように、JR多治見駅長の加藤様、多治見工業高校のMSリーダーズ11名とセンター指導員50名のみなさまの参加とご協力により実施することができました。



青少年健全育成 街頭啓発に一役
多治見工高生

全国青少年健全育成強調月間に合わせ、少年補導員や多治見工業高校のMSリーダーズが、JR多治見駅や周辺で街頭啓発活動をした。啓発ちらし作りなどにも同校の生徒が一役買った。

多治見工高生造形部の三年生が部活動の時間に手掛けた。

高校生が児童と触れ合ったり、三世代が笑顔で寄り添う心とむらぶらぶ。裏側に記した育てよう未来を交える子どもたち」といった十の「高校生からのメッセージ」は、国語の時間に複数のクラスで作成し、野球部員が袋詰め作業を担った。

当日は、MSリーダーズの一、二年生十一人が、少年補導員ら約五十人と一緒に、手作りちらしとポケットティッシュ千組を駅利用者らに配った。

東濃西部少年センターの石原憲所長は「大人だけでなく、若者が若者にメッセージを発して貰え、学校側や生徒に感謝したい。今後もうこうした取り組みを続けていきたい」と話していた。

(有賀博幸)

MS(マナーズ・スピリット)リーダーズとは・・・？

2000年の全国高校総体(岐阜大会)で、高校生が取り組んだ「1人1役運動」を契機に組織された規範意識を啓発するための委員会のことです。現在県下95の高等学校で5,500余名の生徒が参加し、自らの手で、地域清掃・交通安全・非行防止、各種啓発などの活動に携わっています。

平成21年11月25日 中日新聞掲載

裏面にて少年センターの取り組みについて報告させていただきます。

輝け若者

東濃西部少年センターでは、11月の強調月間を取り組むにあたって、準備の段階からMSリーダーズのみなさんと一緒にできないだろうか？！そして、若者と私たち大人の心に響く言葉を考えました。それが「輝け若者」です。若者への応援メッセージとして、

「輝け若者」を合い言葉に啓発活動の準備が始まりました。

幸い多治見工業高校の先生とMSリーダーズのみなさんのご理解とご協力を得ることができました。新聞記事にもありますように、チラシとメッセージの作成・配布物の袋詰め作業・当日の配布と、ひとりひとりがそれぞれに関わることができたと思います。

こうした高校生の主体的な取り組みとセンターの活動が協働で実現したことは、貴重な初めての体験であったと思います。

どんなことにも前向きに一生懸命取り組む高校生の姿を発見できたことは、とても嬉しく大きな収穫でした。

「やればできる！」を改めて実感しました。

多治見工業高校のMSリーダーズのみなさん、お疲れさまでした。教職員のみなさま、ご協力ありがとうございました。



(新しい駅舎に早くから集合しておられる参加者のみなさん)

そして、東濃西部少年センター指導員のみなさま、お疲れさまでした。

東濃西部少年センターとしては、初めての取り組みで、至らない面も多々あったかと思えます。お気づきのことがありましたら、センターへお知らせください。真摯に受けとめて次回への活動に繋げていきたいと思えます。

チラシの裏面に印刷した高校生からのメッセージを5つ紹介します

- ・ 地域の声 耳を傾け 聞いてみる
- ・ 見てください 子どもたちの 頑張る姿
- ・ 挨拶は 人と人との 心をつなぐ
- ・ 子どもとの 時間をつくって 少しでも
- ・ 叶えたい 夢があるから 頑張れる

何か気付かれたこと、ご不明なことがありましたら 下記へ連絡ください。

東濃西部少年センター (0572) 23-3455
メールアドレス anshin55@crux.ocn.ne.jp

